

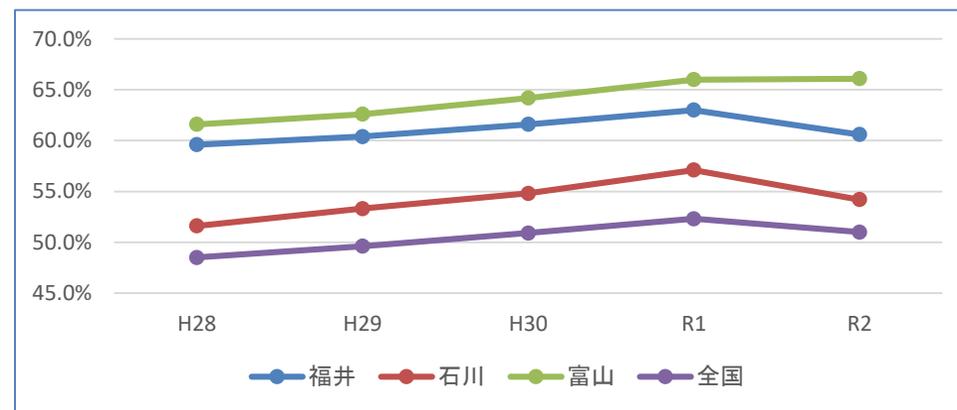
特定健診・特定保健指導実施率の 向上について

1. 概要、課題等

(1) 健診受診率

i) 生活習慣病予防健診（被保険者）

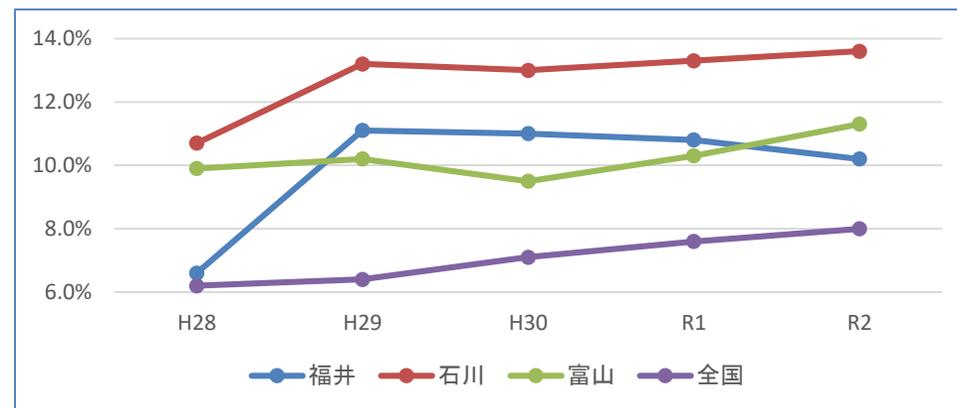
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	112,492	115,870	118,520	121,499	122,926
	実施件数	67,012	70,036	72,956	76,856	74,484
	実施率	59.6%	60.4%	61.6%	63.0%	60.6%
	順位	10位	11位	11位	12位	15位
石川支部	実施率	51.6%	53.3%	54.8%	57.1%	54.2%
	順位	24位	23位	23位	21位	29位
富山支部	実施率	61.6%	62.6%	64.2%	66.0%	66.1%
	順位	4位	4位	4位	5位	4位
全国平均	実施率	48.5%	49.6%	50.9%	52.3%	51.0%



・北陸三県ともH28年度からR元年度にかけて実施率は右肩上がり、全国平均と同傾向。（コロナ禍のR2年度は除く）
 ⇒対象者数の伸びに伴い実施件数の更なる拡大が必要だが、福井支部では施設内健診の予約受け入れ枠に余裕がなくなっている。
 そのため、検診車を保有する健診機関での集団健診を拡大することがカギとなる。

ii) 事業者健診（被保険者）

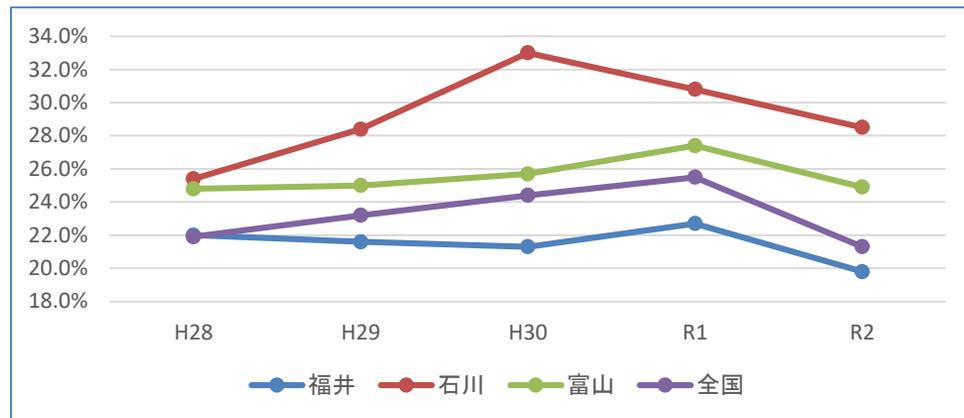
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	112,492	115,870	118,520	121,499	122,926
	取得件数	7,432	12,891	13,090	13,118	12,575
	実施率	6.6%	11.1%	11.0%	10.8%	10.2%
	順位	24位	6位	10位	12位	16位
石川支部	実施率	10.7%	13.2%	13.0%	13.3%	13.6%
	順位	9位	1位	4位	4位	6位
富山支部	実施率	9.9%	10.2%	9.5%	10.3%	11.3%
	順位	10位	11位	15位	15位	11位
全国平均	実施率	6.2%	6.4%	7.1%	7.6%	8.0%



・福井支部では近年13,000件前後のデータ取得数で推移。全国的には実施率は向上しているため、相対的に順位が低下傾向。
 ⇒各事業所での健診の実態はまだまだ把握できていない部分が多く、取組み次第では実施率を伸ばせる余地はある。
 そのため、中規模以上事業所への勧奨に引き続き注力していく。

iii) 特定健診（被扶養者）

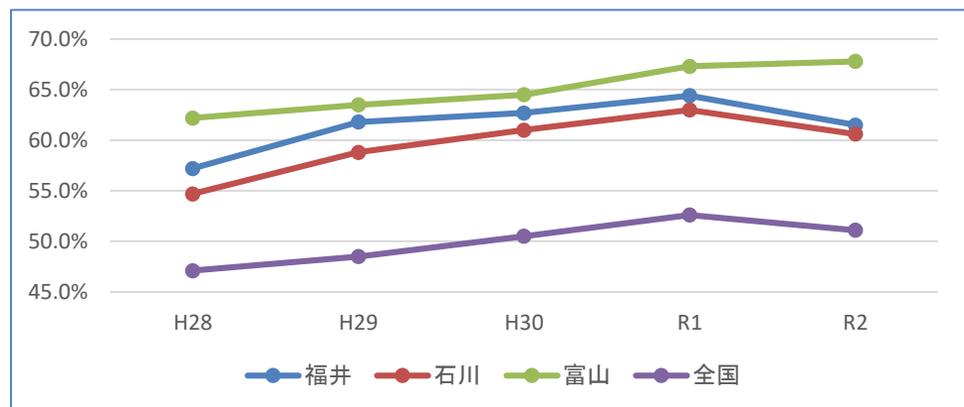
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	28,491	28,369	28,241	27,969	27,567
	実施件数	6,255	6,114	6,005	6,358	5,448
	実施率	22.0%	21.6%	21.3%	22.7%	19.8%
	順位	26位	33位	40位	38位	36位
石川支部	実施率	25.4%	28.4%	33.0%	30.8%	28.5%
	順位	15位	7位	3位	8位	5位
富山支部	実施率	24.8%	25.0%	25.7%	27.4%	24.9%
	順位	16位	18位	21位	15位	14位
全国平均	実施率	21.9%	23.2%	24.4%	25.5%	21.3%



- ・福井支部はH28年度は全国平均並みであったが、その後全国では順調に実施率を伸ばしているのに対し、福井は伸び悩んでいる。（R2年度は除く）
- ・北陸三県で比較しても、石川・富山に大きく引き離されており、**福井支部は特定健診が弱点**といえる。
- ⇒石川・富山に近づくためには、抜本的な対策が必要。

i + ii + iii) 健診合計（被保険者+被扶養者）

年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	140,983	144,239	146,761	149,468	150,493
	実施件数	80,699	89,069	92,051	96,332	92,507
	実施率	57.2%	61.8%	62.7%	64.4%	61.5%
	順位	9位	6位	6位	8位	10位
石川支部	実施率	54.7%	58.8%	61.0%	63.0%	60.6%
	順位	14位	9位	9位	10位	12位
富山支部	実施率	62.2%	63.5%	64.5%	67.3%	67.8%
	順位	4位	3位	5位	5位	2位
全国平均	実施率	47.1%	48.5%	50.5%	52.6%	51.1%

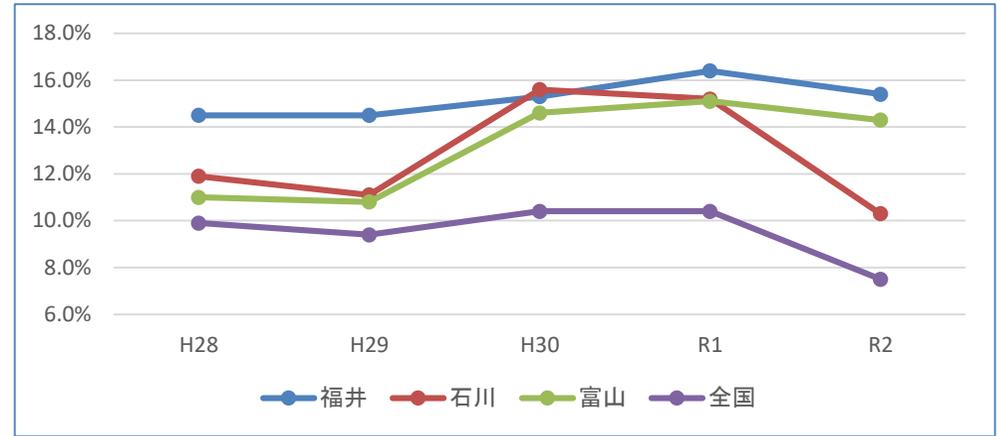


- ・健診全体で見ると、北陸三県ともレベルは高く、福井支部は全国上位（10位以内）をキープできている。
- ⇒ただし、更なる飛躍のためには**特定健診（被扶養者）**の受診者数を伸ばすことが不可欠といえる。

(2) 特定保健指導実施率

i) 支部実施分（被保険者）

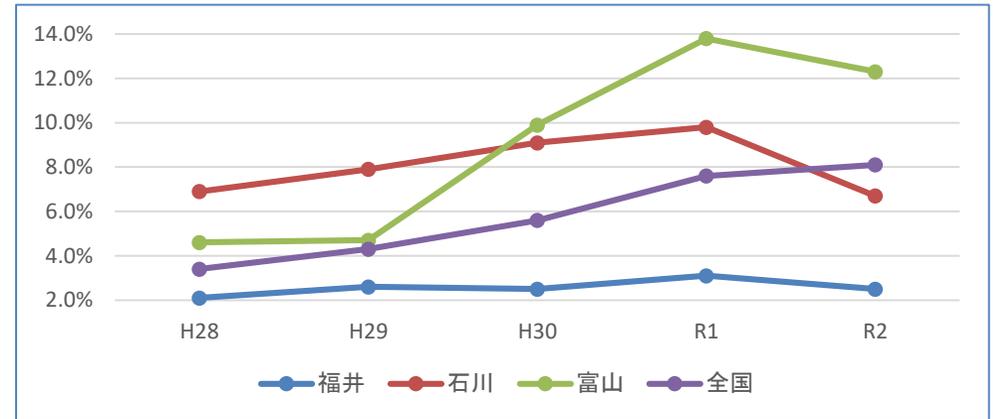
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	14,631	15,567	17,232	17,319	17,207
	実施件数	2,116	2,264	2,639	2,833	2,651
	実施率	14.5%	14.5%	15.3%	16.4%	15.4%
	順位	20位	14位	19位	14位	7位
石川支部	実施率	11.9%	11.1%	15.6%	15.2%	10.3%
	順位	27位	26位	18位	16位	25位
富山支部	実施率	11.0%	10.8%	14.6%	15.1%	14.3%
	順位	29位	28位	22位	19位	10位
全国平均	実施率	9.9%	9.4%	10.4%	10.4%	7.5%



・福井支部は支部実施分に限れば比較的全国上位におり、北陸三県の中でも最も高い。
 ⇒しかしながら保健指導だけでなく、重症化予防やコロナヘルスも同時に推進していく必要がある。
 そのためには支部保健指導者のマンパワーをそちらにシフトしていかざるを得ない。

ii) 委託分（被保険者）

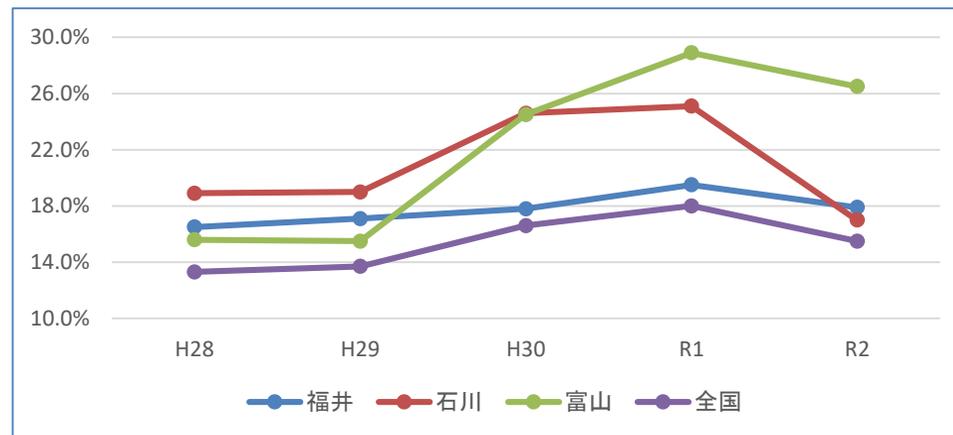
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	14,631	15,567	17,232	17,319	17,207
	実施件数	303	398	428	539	437
	実施率	2.1%	2.6%	2.5%	3.1%	2.5%
	順位	29位	28位	39位	41位	44位
石川支部	実施率	6.9%	7.9%	9.1%	9.8%	6.7%
	順位	5位	6位	7位	11位	23位
富山支部	実施率	4.6%	4.7%	9.9%	13.8%	12.3%
	順位	14位	18位	6位	6位	7位
全国平均	実施率	3.4%	4.3%	5.6%	7.6%	8.1%



・福井支部では委託での実施率が伸び悩む中、全国平均は順調に伸びているため、相対的に順位が下がり現在最低ランク層に位置する。
 ⇒健診機関に委託の推進を依頼しているが、マンパワー不足を理由になかなか進展しない。そのため、保健指導の専門機関への外部委託がカギとなる。
 富山支部は専門機関への継続支援委託をスムーズに移行し、近年目覚ましく実施率を伸ばしたので参考としたい。

i + ii) 被保険者保健指導合計 (支部+委託)

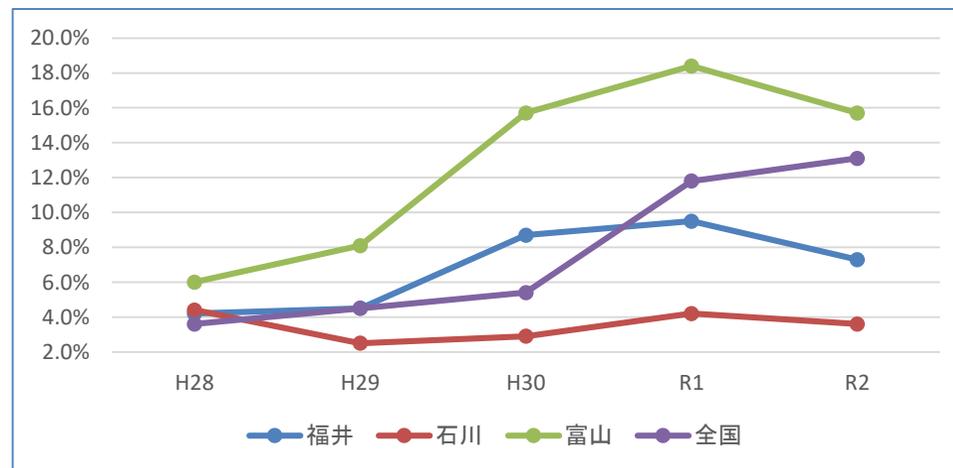
年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	14,631	15,567	17,232	17,319	17,207
	実施件数	2,419	2,662	3,067	3,372	3,088
	実施率	16.5%	17.1%	17.8%	19.5%	17.9%
	順位	25位	22位	28位	28位	18位
石川支部	実施率	18.9%	19.0%	24.6%	25.1%	17.0%
	順位	19位	17位	11位	14位	23位
富山支部	実施率	15.6%	15.5%	24.5%	28.9%	26.5%
	順位	26位	25位	12位	7位	7位
全国平均	実施率	13.3%	13.7%	16.6%	18.0%	15.5%



・福井支部は被保険者の保健指導全体では全国中位レベルにあるが、伸び悩んでいる。(コロナ禍のR2年度は除く)
 ⇒継続支援は専門機関への外部委託を上手に活用し、その分浮いた支部保健指導者のマンパワーを初回面談にシフトすれば実施率増が見込める。
 そのため、これまで保健指導の利用が少なかった事業所への継続的な勧奨が必要となる。

iii) 保健指導 (被扶養者)

年度		H28	H29	H30	R1	R2
福井支部	対象者数	505	508	508	495	463
	実施件数	21	23	44	47	34
	実施率	4.2%	4.5%	8.7%	9.5%	7.3%
	順位	15位	21位	8位	25位	35位
石川支部	実施率	4.4%	2.5%	2.9%	4.2%	3.6%
	順位	14位	37位	41位	42位	44位
富山支部	実施率	6.0%	8.1%	15.7%	18.4%	15.7%
	順位	7位	7位	1位	11位	14位
全国平均	実施率	3.6%	4.5%	5.4%	11.8%	13.1%



・被扶養者は被保険者に比べ対象者が圧倒的に少なく、また介入の仕方が難しいので、H30年度頃までの支部でも後回しになっていた分野といえる。
 ・その反面、力を入れた支部は順位が大きく改善する傾向にあり、近年新たな施策を取らなかった福井支部は相対的に順位が下降傾向にある。
 ⇒R1年度から被扶養者の集団健診当日に保健指導もセットで行う支部が急増してきたことから、福井支部もR3年度から取り入れることとした。

2. 当日特定保健指導付き集団健診事業（被扶養者）について

令和3年度の取り組み

集団健診当日に特定保健指導もセットで実施できる健診機関を公募し、集客が見込める県内3会場で実施した。
なお、無料で受けられるオプション検査も特典として案内し、これまで特定健診に無関心であった層にも訴求できる内容とした。

進捗状況、成果等

会場		福井市北部	福井市南部	丹南	合計
特定健診	申込者数(A)	400	535	400	1,335
	受診者数(B)	342	480	326	1,148
	受診率(B/A)	85.5%	89.7%	81.5%	86.0%
特定保健指導	当日初回面談実施者数(C)	45	60	54	159
	階層化結果該当者数(D)	34	40	41	115
	当日面談者中の保健指導対象者該当率 (D/C)	75.6%	66.7%	75.9%	72.3%

今後に向けて

わずか3日間の集団健診にもかかわらず期待どおりの受診者数を集めることができ、そのうち昨年度未受診者は約半数、過去3年以内に一度も受診がない新規受診者は約3割を占めた。

また、健診当日の保健指導をセットにした結果、115人もの保健指導対象者に初回面談をすることができた。

次年度は県内5地区(予定)に実施回数を増やし、さらなる受診者数の増加と継続受診者(リピーター)の定着を図りたい。

3. 特定健診早期受診者に対する特典クーポン提供事業（健トクキャンパ-ン）について

令和3年度の取り組み

下記2つの条件のうち、いずれかを満たした申込者に福井県内の大規模商業施設やチェーン店、公共施設等で使えるお得なクーポンセットをもれなく進呈する事業。
平成30年度から福井支部独自で開始し、今年度で4年目となる。
毎年少しずつキャンペーン申込者が増加し、新規受診者の獲得および継続受診者（リピーター）の定着につながっている。

- 条件①：当年10月末日までに病院や健診会場で受診券を使って特定健診を受けた人
または
条件②：前年4月から当年9月までに人間ドックやパート勤務先で健診を受けた人

進捗状況、成果等

年度	H30	R1 (H31)	R2	R3
クーポン申込者	874	1,439	1,551	2,427
内、前年度未受診者（※1）	255/755 33.7%	369/1,253 29.4%	482/1,353 35.6%	886/2,173 40.8%
内、長期未受診者（※2）	154/755 20.4%	232/1,253 18.5%	269/1,353 19.9%	527/2,173 24.3%

（※1）前年度に受診資格があった者のうち、前年度未受診者
（※2）前年度に受診資格があった者のうち、過去3年以内に一度も受診がなかった者

今後に向けて

- ・協賛企業の拡大（R3年度現在：県内24社約260店舗、公共施設24施設）
- ・県内参加医療保険者の拡大（R3年度現在：6国保、4共済組合、5健保組合 対象者合計約103,000名）を図りつつ、継続実施していく。

期間限定！
健診受けてトクしちゃお！
10月までに受診して申し込みと もれなく 下記の協賛店で使えるクーポンをぜんぶプレゼント！

お申し込みは、受診後、裏面の記載に沿ってお申し込みください。 申込期限 2021年11月10日(水)

全国健康保険協会 福井支部 協会けんぽ 福井

R3年度健トクキャンペーン チラシ

4. 定期通院者に対する特定健診受診体制の構築について

令和3年度の取り組み

福井支部で令和2年に3年以上の長期未受診者に行ったアンケート調査によると、特定健診を受けない理由として、半数以上の方が「定期的に通院し検査しているから」と回答があった。

そこで、かかりつけ医から定期的に通院している方に対し、「次回来院するときは受診券を持って来てください」と声掛けしてもらえるような体制を県内の医療機関全体で構築できないかと考え、県保険者協議会を通して県医師会に要請するよう提案した。

進捗状況、成果等

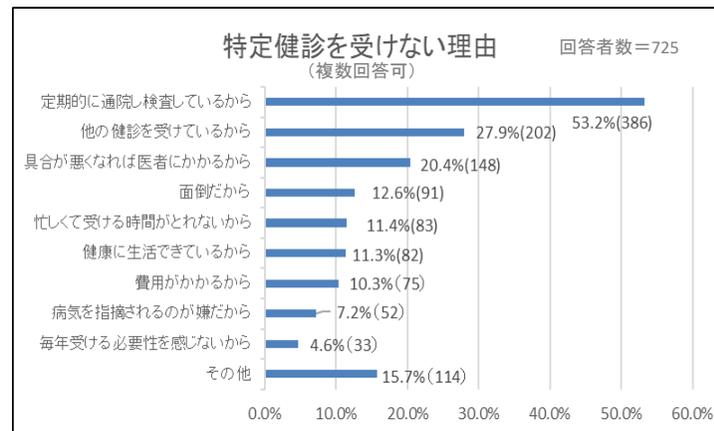
かかりつけ医から患者に対し声掛けをするための勧奨ツール等を福井支部で作成し、保険者協議会専門部会で既に3回議論を行った。

出席した委員全員から賛同を得られ、現在詳細について詰めている段階であるが、既に一部の国保から地域医療連絡協議会で説明したところ、医療機関側から受診勧奨を協力的にやっていきたいと温かい言葉を頂戴したとのこと。

今後に向けて

現在、県医師会の事務局に意見を聞いているところだが、実施できそうだということになれば、保険者協議会の本会に諮り、その後正式に県医師会へ協力依頼に行くことになる。

できれば令和4年度から県内の医療機関全体で実施していきたいと考えている。



5. 特定保健指導（継続支援）の委託について

令和3年度の取り組み

福井支部ではこれまでなかなか着手できていなかった特定保健指導の外部委託について、継続支援分を業者委託することとした。

令和3年7月から一部試験的に開始し、今後は支部保健指導者が初回面談を行った分については、原則として2回目以降はすべて外部委託する。

進捗状況、成果等

途中経過：令和3年度 588人分の継続支援を委託(R3.11.12時点)

外部委託したことによりこれまでできなかったメールでの支援ができるようになり、手紙や電話による支援よりも中断率が低く、利用者とやり取りがしやすいので期待が持てる。

また、外部委託だと平日夜間や土日でも柔軟に対応できるようになったほか、委託業者が作成したアプリも使えるため、継続率のアップにつながる。

今後に向けて

継続支援の外部委託により浮いた支部保健指導者のマンパワーをシフトしていく。

○初回面談の増加

・これまで特定保健指導の利用が少なかった事業所に訪問し、その効果を説明する。また、事業所側の都合で受け入れが困難な場合は、WEB面談や委託業者の活用を提案し、利用を増やす。

○重症化予防の推進

・健診結果により要治療・要精密検査と判定された未治療者に医療機関への受診を勧奨する。文書だけでなく、電話による勧奨にも力を入れる。
・特定保健指導の案内時に、未治療者も名簿に含め、面談する。

○コラボヘルスの推進

・健康づくり宣言事業所について、数だけでなく質の向上も図るべく、事業所へ定期的に訪問し、各事業所の健康課題に応じた支援を進める。

指導期間(月)



指導期間が短い

スマホでメールのやり取りができるので、指導が進みやすい

中断率(%)



中断率が低い

勧奨もメールで行う為、返信率が高く、中断率の低下につながる

システム利用率(%)



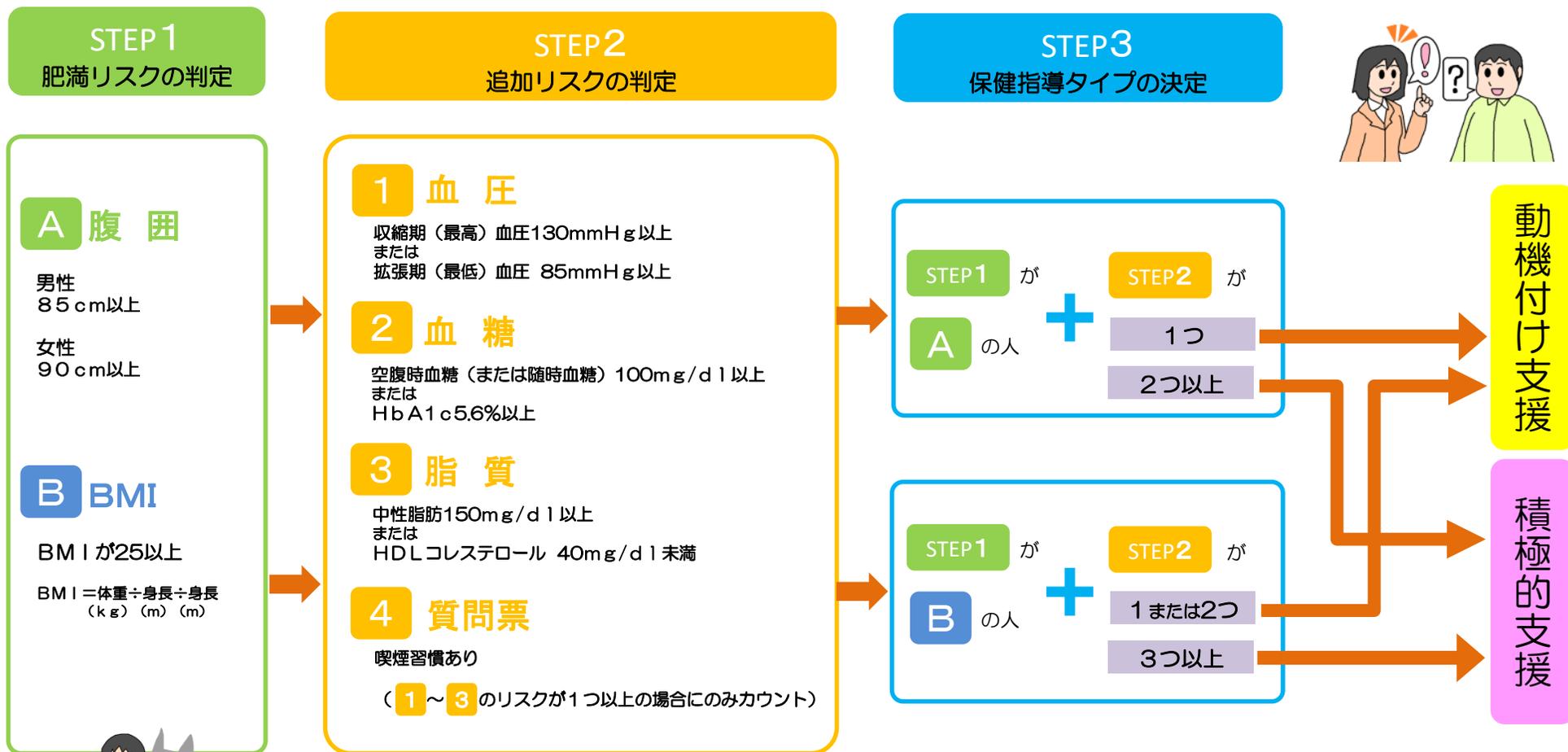
システムの利用者が多い

指導メールにシステムのログインURLを記載。システムへの導線があることで利用しやすい

(BLP資料より抜粋)

効果的な特定保健指導を進めるためには**メールコースが有効**

《参考資料》特定保健指導対象者の判定方法（階層化）



動機付け支援

積極的支援

！ なお、質問票で血圧・血糖・脂質のいずれかで服薬中と回答があった人は、特定保健指導の対象とはなりません



《参考資料》 特定保健指導の主な支援方法（積極的支援）

